あさがお

2013 11月 霜月

日	月	火	水	木	金	土
【開館時間】 月曜～土曜　午前9時～午後8時 日曜・祝日　午前9時～午後5時					1	2 映画会
3	4	5 休館日	6	7	8	9 赤ちゃんタイム 児童行事 <ことりん>
10	11	12	13	14	15	16 映画会
17	18	19	20	21 休館日	22	23 児童映画会 起業経営相談会
24	25	26	27	28 赤ちゃんタイム	29	30 映画会

阿佐谷図書館ってこんなところです！

阿佐谷図書館では就職、転職、起業に関する本を積極的に収集し、特設の就労支援コーナーで展示しています。また、就労に役立つ本の検索や調査に役立つパスファインダーを定期的に発行しています。

中小企業診断士による起業・経営相談会

- 11月23日(土・祝)
- 午後1時～午後5時
- お一人様60分（事前申込制）
- 毎月第4土曜日　予約受付中

今月の映画

午後２時～　２階ホール

原作・井伏鱒二

2日（１２３分）

黒い雨

１９８９年　日本
監督：今村　昌平

井伏鱒二のベストセラー小説をもとに、原爆被爆者の悲劇を庶民の普通の生活を通して淡々と綴った力作。

16日（７０分）

簪（かんざし）

１９４１年　日本
監督：清水　宏　原作：『四つの湯槽』井伏鱒二

夏の温泉宿を舞台に滞在客の人間模様を清水宏が味わい深く描いた人情ドラマ。

久しく、杉並区立図書館で上映されていなかった戦前の貴重な作品。

30日（１０２分）

集金旅行

１９５７年　日本
監督：中村　登

庶民文学の大家、井伏鱒二の同名小説を、中村登が人情とお色気をたっぷり詰め込んで描いた異色の文芸喜劇大作。

児童映画　午後２：３０～　２階ホール
２３日（土）世界絵本箱３（１８分）

今月の展示　一階展示コーナー等　11月6日(水)～12月1日(日)

井伏鱒二　没後２０年

中学時代から絵画と文学を志して、旅と釣りを愛し、将棋を好んだ。
「阿佐ヶ谷会」の中心的存在。

【パネル展示】

杉並区立郷土博物館にご協力頂き、貴重な資料を多数展示いたします。

- 写真「釣り姿の井伏鱒二」
- 画・谷川五男「井伏鱒二の肖像・旧居」（原画）
- 原稿『荻窪風土記』一部分」（複製）
- サイン本『太宰治』井伏鱒二／著」
- 写真「阿佐ヶ谷会風景」昭和２９年５月２２日
- 図「ピノチオ想定復元図」
- 画・矢嶋又次「荻窪の今昔と商店街之変遷」（複製）
- 写真「荻窪駅・天沼教会・天沼八幡神社」

【特集】

当時の「井伏鱒二・追悼」記事を比較展示いたします。

ぜひ、お立ち寄りください。

１８９８～１９９３年。作家。広島県生まれ。本名、満寿二（ますじ）。早稲田大学在学中から小説を書きはじめ、１９２９（昭和４）年『山椒魚』を発表してみとめられる。社会批判をテーマにした文学が流行するなか、ユーモアともの悲しさのただよう作風を特徴とした。『ジョン萬次郎漂流記』（１９３７年）で直木賞を受賞。第二次世界大戦後は、『本日休診』（１９５０年）や『漂民宇三郎』（１９５４年）など格調ある文章で人々の喜びと悲しみをえがいた。１９６５年、日本芸術院会員となり、１９６６年には、広島に落とされた原爆への怒りをこめ、『黒い雨』を発表した。この年、文化勲章受賞。アメリカ合衆国の作家ロフティングの『ドリトル先生物語』シリーズの翻訳も手がけた。

『総合百科事典　ポプラディア　新訂版』２０１１年　ポプラ社　より

阿佐谷図書館　開館２０周年記念

阿佐ヶ谷・荻窪界隈
文士村ガイドマップ

１階カウンターにて、好評・配布中です。

１０月に催した「阿佐ヶ谷・荻窪界隈　文学散歩」は当マップを巡りました。
部数に限りがございます。お一人様、１部でお願いいたします。

児童行事

阿佐谷図書館　秋の読書週間記念行事

ことりん　この指と一まれ！

11月9日(土)

第一部　：　こうさくかい「手袋人形<ことりん>をつくろう」
小学生対象・事前申込制（詳しくはカウンターまで）

第二部　：　おはなしかい「<ことりん>大集合！」

高田先生、ボランティアさんによるおはなし会です。
日時：11月9日（土）　午後3時～3時30分
対象：どなたでも
定員：40名（当日先着順）

児童展示　2階ホール前　10月8日（火）～12月1日（日）
「いろ・とり・どり　～とりの本大集合！～」

12月予告　阿佐谷図書館　年の瀬　映画祭

１２月２７日（金）・２８日（土）・２９日（日）

どうぞ、お楽しみに～♪

阿佐谷図書館通信　2013年11月1日発行　通巻８０号　編集・発行　杉並区立阿佐谷図書館
〒166-0001　杉並区阿佐谷北3－36－14　℡03-5373-1811